夕刊
京城日報
定價金壹圓　一部一錢
發行兼編輯人　池田林儀
印刷人　神永外
京城府太平通一丁目三十一番地
發行所　京城日報社

江部隊猛將の顔合せ
寫眞＝上師部隊長(右)と續木部隊長(左)

日獨文化協定
けふ正式に調印
同時に外務省聲明を發す

【東京電話】日獨兩國民の文化提攜増進を目的とする日獨文化協定、防共協定成立二周年記念日たる二十五日午前九時三十分霞ヶ關外相官邸において有田外相とオットー駐日獨大使の間に調印を了したが右に關し外務省として同日午前十時協定全文（既報）を發表すると共に外務省聲明並に情報部長談をもつて同協定の精神及びその具體的實施方法を明示した

調印式光景

【東京電話】日獨文化の緊密なる交流を條約に表現して兩國の親善を結ばうとする日獨文化協定の正式調印は日獨防共協定二周年記念日に當る今二十五日午前九時半から麹町區三年町の外相官邸において厳粛な感激のうちに有田外相、オットー獨大使との間に行はれた、外務省からは有田外相、澤田次官、井上歐亞局長、三谷條約局長、ドイツ大使館からはオットー大使、ボルツェ、コルプ兩參事官等何れもモーニング姿に威儀を正し純白の布をかけた大テーブルに對坐して有田外相は毛筆、オットー大使はペンと各自の國の流儀によつて署名を了し、ここに大和魂とナチス精神、東洋とヨーロッパを支配する二つの大きな力が哲學、文學、法學、音樂、運動のあらゆる文化部門を通じて一體に結ばれたのであつた、この間僅か五分間調印を終つて外相と大使は果し得た使命に滿足の微笑をたたへつつ固い握手を交はした、かくて午後零時半より外相官邸において文化協定成立、日獨防共協定成立二周年記念を兼ね外相招待の祝賀午餐會を開き近衞首相、板垣陸相、米内海相、荒木文相、木戸厚相、オットー獨大使、德川國際文化振興會副會長等參列してこの文化提攜成立の佳き日を心から祝福した

欣然提議を應諾
（外務省聲明）

【東京電話】外務省二十五日公表
△日獨文化協定に關する外務省聲明

日獨兩國間には古くより特に醫學、法學、文學、音樂等の分野に於て緊密なる文化的關係が存在してゐたのであるが、最近に至り防共協定締結以來兩國の關係は一層親密を加へるところとなつた本年九月ドイツ政府は帝國政府に對し一層これを强化するために文化關係についても條約上の基礎を築かんことを提議し來れるを以て帝國政府は欣諾これに應諾したのである、本日署名の効力を發したる日、獨文化協定がこの時期の需要に應じ後締結せられたことは我等の日、獨兩國間の文化提攜の上に更に一歩を加へたもので兩國關係の改善に寄與することに何等の疑なく、又本協定は日本にとつてはこの種協定中最初に締結せられたものである、本協定はその前文において兩國の精神的關係增進のため兩國政府が行ふ協力は兩國の文化の神髓を基調とするものであることを明瞭に認めてをり本協定は兩國が依つて以て行ふべき一般的原則を示したものである、本協定に即應し兩國の權限ある官憲において取敢へず協議且つ考慮せらるべき事項は左の通りである

第一、日、獨文化民族協議會設置
第二、文化施設の維持擴充
第三、學校教員の任命
第四、政府派遣、留學生に對する便宜供與
第五、教授學生交換
第六、青少年團による交歡
第七、ドイツに於ける日本の學校及び日本に於けるドイツの學校に對する好意的處置
第八、圖書雜誌交換
第九、藝術文化交換
第十、映畫交換
第十一、交歡放送
第十二、運動競技等による交歡

世界文化に貢獻
（外務省情報部長談）

日獨文化協定調印に際し外務省情報部長談左の如く發表した

【東京電話】豫ねて東京において日獨兩國政府間に交渉中であつた日獨文化協定は本日署名調印を終つてここに成立することゝなつた右協定により兩國民の文化關係は益々緊密となり

相互に　相手國に對する知識と理解を深からしめることになつたことは全く慶賀に堪へない、最近我國が國際聯盟と完全に絶縁したが、しかしこのことは決して我國が諸外國と文化關係を斷絕し又文化的協力を排することを意味するものではなく今後も我國は聯盟國たると否とを問はず友好關係ある國と文化的諸事業につき進んで協力を行ふものであることは從前と變らないのである、今日日獨兩國間に締結された文化協定は

各國と　個別的に相互主義に基く双務的協定にして對外文化關係を增進せんとする日本政府の熱心なる希望の表明である、本日締結せられたる協定は日本が結んだその種協定中最初に實施せられるものであるが今後これを第一歩として出來得る限り多くの友邦國と同様の協定が結ばれることとならう、現にハンガリーとの間には去る十五日文化協定が調印せられたる外イタリーともこの種文化協定の締結方準備中である、この他本邦と文化提携の希望を有する諸國とは今後

引續き　協定締結を促進したき方針である今後他の國との間に締結を豫想され、この種協定の基調とする所は日本文化の新面目をあくまで生成發展せしめつつ諸外國の各特色ある文化の精華と普く交流をはからんとする點に存するのであつて、日獨文化協定も右の基本觀念の下に諸の文化的協力に關する一般方針を規定したもので、本協定第二條に掲げた

諸分野　は例示的にあげたに過ぎない、諸外國間の文化協[illegible]

駐日獨大使ステートメント發表

【東京電話】駐日ドイツ大使オットー氏は防共協定第二周年當日、日獨文化協定の調印を見るに至つたことを喜び左の如きステートメントを發表した

防共協定第二周年は日獨文化協定の締結によつて特徴づけられることとなつた兩國文化の眞髓を相互に尊重することにより文化協定は防共協定を補足し、幸ひに日獨兩國を結合せる親善と協力を更に强化促進すべきことは余の確信するところである

第十九師團長に
波田重一中將
尾高中將は某要職に

【朝鮮軍發表】陸軍中將波田重一氏は今般第十九師團長に補せられた、右は尾高中將の某要職轉出に伴ふ異動なり

新師團長は二十六日午後七時卅五分京城驛發にて赴任の豫定
中將は鹿兒島縣出身第十八期步兵科出身、陸軍省に勤務したこともあり、滿洲事變に於北支駐屯部隊長として、今次事變漢口作戰には通江部隊最前線○○部隊長として赫々たる武勲を樹てた人である【寫眞＝波田中將】

直ちに軍司令部、師團司令部訪問の後朝鮮神宮を參拜し南總督を官邸に訪れた後梁山館前に少憩[illegible]

有田外相眞っ向から
認識の是正を要求
揚子江問題に　英大使不滿を暗示

【東京電話】クレーギー駐日イギリス大使は二十四日午後三時外相官邸に有田外相を訪問一時間二十分に亘つて揚子江航行問題に關する十一月十四日附帝國政府の回答並に十一月十八日附の對米回答を中心に第三國在支權益に關する意見の交換を試みた、而してクレーギー大使は十一月十四日附回答に不滿の意を披瀝しイギリス政府は回答に滿足して居らぬ旨暗示したので、有田外相はこれに對し對米回答に示された第三國權益に關する帝國政府の根本方針を說明イギリス側の認識是正の當然なることを力說する所あつた、なほ十一月十四日附帝國政府の回答に對するイギリス側の不滿は甚だ不可解な事であり現地狀勢は十四日附回答に明示せる所で今直ちに揚子江を開放することは作戰行動上不可能であり、一方危險の伴ふものであることは現實の事態を直視するの明敏あらば理解し得る所である、又東亞の新事態は常識的認識によつて十八日附對米回答の主旨を把握すれば在支權益問題も逐次解決し得るものであり、要はイギリス側が日支事變の根本的認識の更改にあることは論を俟たないこととされてゐる

支那奥地の狀況は
全然豫測を裏切る
カー大使上海に歸る

【上海二十四日同盟】過般蔣介石と會見後香港にあつたカーイギリス大使は二十四日午後三時上海入港のコンテベルデ號で上海歸着、月餘に亘る

奥地　旅行で陽灼けした顔を税關碼頭に現はし大使館に入つた上海外交界はカー大使を迎へて再びに活氣を見せんとしてゐるがカー大使今回の奥地旅行は我漢口廣東兩作戰最中で、當初漢口行きの豫定にも拘らず香港、海防、昆明經由貴陽、重慶に足を留むるの餘儀なきに至り、蔣介石と湖南省某地において二回に亘つて長時間會見をとげ、この會見で國民政府の援蔣に伴ふイギリスの在支權益の問題その他につき相當突込んだ話合が出來たものと解される、しかして今回の旅行中種々の事態に對する大使の

豫測　は總て裏切られ國民政府の没落は今や動かすべからざる客觀的事實となつて現はれ、上海のイギリス財界でも現實の事態に即して速かに在支權益擁護に關する時局打開を圖るべしとの論議が相當有力であるが、從來の行掛り上外交に急激な方向轉換を行ふことも出來ず上海歸府後のカー大使の時局打開策に相當の

苦衷　が察せられる、一方スペイン問題パレスタイン問題等多數外交案件を控へ又總選擧の接近に伴ひ國內諸問題も紛糾してゐる折柄、イギリスの極東政策の前途は俄に豫斷し難く又その方針確立には相當の紆餘曲折は免れないと觀測されてゐる

懸案全的解決は困難
英佛會談愈よ開始

【寫眞】＝チエンバレン英首相、ダラディエ佛首相、ボンネ佛外相

【東京電話】英佛會談は全歐洲の注目裡に二十四日午前午後に亘りフランス外務省において行はれた即ち午前十時十五分イギリス側代表チエンバレン首相、ハリファックス外相はフイリップス駐佛大使カドガン外務次官等隨員を從へてイギリス大使館からフランス外務省に到着ダラディエ首相、ボンネ外相以下コルバン駐英大使、レヂエ外務省事務總長等フランス側代表に迎へられ「ロロトンドの間」において直ちに會談を開始した、會談は前後二時間にして午後零時半一旦休憩に入り一行は打揃つてエリゼ宮に赴きルブラン大統領主催の歡迎午餐會に臨んだ、次いで再び外務省に引返し午後三時から六時十分まで約三時間に亘り會談を繼續した、本日の會談に於ては劈頭ボンネ佛外相は獨佛共同宣言作成の交渉を行つたイギリス側に對してチエンバレン首相は歐洲平和の爲に欣快に堪へぬと滿足を表明した、チエンバレン、ダラディエ兩相間に意見の交換あり、これで午前の豫定を終り午後スペイン問題、極東問題其他の重要日程を一々檢討した、會談の結果については英佛兩國代表とも滿足の意を表明してゐるが、フランスとドイツ、イタリー兩國との關係調節を先決問題だとするイギリスと先づイタリー、ドイツに對抗して英佛提攜を强化すべきだとするフランスとは根本的主張に最初より懸隔あり、懸案の全的解決は疑問視される

日本の輝しい文化的使命

定は細目に關し詳細な規定をなしてゐるが本協定はその例に倣はず機宜に應じ融通自在に活用することゝし個々の具體的事項に關しては必要に應じ決々兩國の權限ある官憲間に決定せしめることゝなつて日本の固有の精神を生成せしめつゝ東亞文化に貢獻せんとの

日本の　輝しい文化的使命の達成は東西識者の齊しく熱望し贊同するものたることを疑はぬものである

波、洪兩國政府
ルテニア占領か
獨は代償にダンチッヒ占領

【ロンドン特電】【廿四日發】イヴニング・スタンダード紙の報ずるところによればポーランド及びハンガリア政府は來る廿七日を期して斷乎チエッコ・スロヴァキアのルテニアを占領すべきことを獨逸政府に通告したといはれ獨逸政府はこれを承認する代償としてダンチッヒの割讓並びにチエッコ領土の一部を更に占據す[illegible]

湯淺和氏東上
けふ大陸特急で

國語教科書のみ
文部省編纂を使用
鮮內業者の杞憂解消

朝鮮教育令の改正に伴ひ一部の學校關係者や出版業者の間には明春から一せいに文部省編纂の教科書を使用する結果初等教育の支障や出版業者から失業者が出るのではないかと色々論議してゐるが、本府學務局では右問題を飽くまで愼重に取扱ひ之が對策に萬全を期するため約三週間の豫定で鹽原本府學務局長、岩下編輯課長が上京、文部省および書籍關係者と折衝の結果、明年の新學期から教育令改正の主旨により、內地人兒童九萬人、朝鮮人兒童百萬人が使用する初等學校教科書に內鮮一體の大方針から大改正を加へ、國語教科書は主に文部省編纂を使用する代りに從來文部省編纂の修身及び歷史教科書は朝鮮の特殊事情及び南總督の提唱する皇國臣民運動の精神を盛り込んだ本府の編纂の教科書を使用することに內定したので、一部で心配してゐる如く、一律に文部省編纂の教科書使用說は解消した譯である

本府ではさらに教科書配給業者の生活問題も考慮し、從來文部省編纂教科書を取扱つてゐた大阪書籍會社關係の全鮮百ケ所の書籍業者と協議した結果明春四月から文部省編纂教科書を新に朝鮮書籍會社の配給下に在つた全鮮六百三十ケ所の本府編纂教科書販賣業者にも配給されることとなつた

そこで本府では近日中に初等教育教科書使用改正並に教科書配給に關して各道知事に通牒を發することになつた

平岡秋田鑛
專校長談

【釜山支局電話】本府の招聘で來鮮した秋田鑛山專門學校長平岡通也氏は廿五日朝門鮮丸で入港「のぞみ」で京城に向つた、釜山鐵道ホテルに少憩中次の通り語つた
朝鮮は六、七年前に一回視察し[illegible]

定例面會日
中止

廿五日午後三時から開く筈であつた南總督の民意を聞く定例面會日は中止された

人

◇吉田雅一氏（平北道會議員）二十四日入城、備前屋
◇内藤熊喜氏（日本電力副社長）二十四日入城半島ホテル
◇村上義一氏（朝鮮運送社長）廿六日飛行機にて京城五十分着入城、十二月一日まで滯在、上海に向ふ豫定

天地玄黃

フランスが、今更に日本と親善關係を結びたいさうな。
×
そして、一方、印度支那海に海軍力を增强するらしいさうな。
×
目ぼしい人間を銃殺して置いて、都會が人口增加に力瘤。
×
ふゝん。世はさまぐの例。
×
防空演習好成績の蔭に、各商店が早仕舞ひして寢てゐた。
×
暗い筈だよ。けふは「防空戰」と思はず厳罰なるを忘れるな
×
眼の光る穩當の陣

本日夕刊四頁

南支軍戰況

【廣東二十四日同盟】南支派遣軍報道部二十四日午後二時三十分發表
一、○○部隊の從化守備隊は二十二日二日に亘り從頭塘附近において約一千五百の敵を擊破し二十四日朝同地北方四キロ龍潭附近に進出せり、敵の損害は甚大にして戰死者三百を下らざる見込み我方損害輕微なり
一、○○部隊の三水守備隊は二十二日午前三水東北方（三水東北西岸）において約三百の敵と遭遇し三百の敵を[illegible]擊退せり
一、河南地方討伐中の[illegible]主力をもつて泉塘[illegible]て現食を占領せり[illegible]程にして住民は[illegible]あり

開花三世相（かいくわさんぜさう）
【44】
村松梢風　作
中一彌　畫
大奥【八】

春だ。
吹上の御庭の櫻が滿開だ。喬木の樹々の若葉、紫雀が鳴いてゐる。
其の芝生の築山よりも陽気に、大奥は今朝からザヘメキ立つてゐる上覽試合の當日だ。
御殿の正面のお座敷には將軍と御台所が坐つてゐた。
其の左右に、お部屋樣達、お年寄、中老の面々が並んでゐて、背後には、それぐの腰元達が幾側にも居流れてゐる。縁側にも薄縁を敷いて身分の低い女中達が見物してゐる。
其の光景は百花爛漫を競ひ開くと綺花を集めたごとく今日を晴れと綺羅を飾り、脂粉の香は堂に滿ち、絢爛として眼を奪ふばかりだ。
お庭には東西に葵の紋打つた幔幕を張り廻らして鍼士の控所が出來てゐる。裃を着けた檢分役が二三名正面に莚を敷いて坐つてゐる、やがて東西の詰所から鍼士が呼び出されると其の姓名を書いた紙が張り出される。鍼士は恭しく正面へ向つて一禮し、それから兩方へ別れて試合が始るのだ。
將軍の御上覽と云つても、大奥で御覽になる時はさう表向きではないから、鍼士も旗臣のみに限られてゐた。大多數は旗本の子弟だつた。
すでに先刻から數番の試合があつた。
始めの間は面白がつて見物してゐた女達も、大體武藝と來ては苦手だから直きに飽きてしまつた。けれども將軍の御前だから欠伸をすることもできずかしこまつて見物してゐる振りをして其の實間えないやうに小聲で勝手なことを囁いて

「ちやありませんね、少しは男振りの好い人でも入るんですけれど」
「腰元達いかりでは[illegible]」
[illegible]
「いゝえ只眼をあいて見てゐるのは[illegible]」
「それでも一生懸命[illegible]」
「いゝえ、ちつとも[illegible]」
「チョイト、紅葉さん[illegible]」
面白うムいます？」
香り合つてゐる。
と出た。
其の名前を見ると[illegible]
「青山の[illegible]」
「アラ、それでは[illegible]」
「相手方の[illegible]」
「それはよく存じ[illegible]」
何でもお使番の[illegible]だといふことです[illegible]
そこへ、東西の幔幕の中から再び鍼士が現はれ、正面へ向つて恭しく禮をした。

柳生旅日記【11】

小金井蘆洲 演　若槻六郎 繪

眞劍勝負

老人のいふことに腹を立てた十兵衛は、相手を脅かすつもりで、大刀をギラリと拔いた。けれども老人は平氣で、少しも騒ぐ樣子もなく、

『はゝア、刀を拔いたな。眞劍勝負をするつもりか、止しなさい、怪我でもするといけないから』

『刀がおそろしいか』

『イヤ私に怪我はせんがな、お前が怪我をするといけない。自分の刀で自分を斬つても詰らんからな』

まるで十兵衛を頭から呑んでかゝつてゐます。

『無禮なことを申すな、貴樣の坊主頭を斬つて落す』

『それは御苦勞だらう、首を斬られると、歩くのに具合がつかんからな。併しさうして拔いたからは、勝負をしなければ氣が濟むまい。相手には不足だが、一本敎へてやらう』

『廣言は後にいたせ』

將軍家光公から、道中は穩便にと申渡された十兵衛が、眞劍を拔いたのは聊か亂暴のやうでございますが、この坊主の振舞が如何にも自分を馬鹿にしてゐる、殊にこれだけの大言を吐くところを見ると、いくらか腕も出來てゐるものに違ひないから、一つ後々のため脅かしもし、試しても見ようと思つたからわざと眞劍で向つたのでございます。

坊主の方も、これが柳生十兵衛であるといふことは勿論知らないが、少しばかり武藝の出來る者が慢心をしてゐるに違ひないぐらゐに思つてゐるから、少しも恐るゝ樣子もなく、たゞ竹の杖を持つたまゝ立上つて、いよ〳〵こゝに勝負をすることに相成りました。やがて

『ヤッ』

『オウ』

と双方互に睨み合つたが、これが普通の人であると、いざ試合となれば、必ず身構へをして、身體に寸分の隙も見せないのですが、この坊主の樣子を見ると、身體中隙だらけだ。隙だらけだから打込めさうなものですが、どういふものか流石の柳生十兵衛ほどの人も何となく怖ろしくて斬込んで行くことが出來ない。又坊主の方も、

初めの内はニコ〳〵笑つてをりましたが、十兵衛の身體の樣子を見ると、笑つてゐた顏もだん〳〵緊張をして來て、相手の太刀先に氣を配るやうになつて來た。と同時に十兵衛の方も、いつか顏色が蒼白になつて、額に脂汗がチリ〳〵出て來る。いつの間にか集まつて來た見物は、周圍を取卷いて見てゐましたが、

『オヤ〳〵驚いたネ、今まで大きなことを云つてゐる坊主が、油斷をしなくなつたぜ』

『さうよ、此方の片眼の武者修行も打込めないところを見るとあの坊主も只の坊主ではあるまい。どうなることだらう』

と噂をしながら見てをりますと、やがて、十兵衛は『參つた』と聲をかけた。途端に坊主も『う――む』と唸つた。十兵衛は刀を鞘に納め作法に禮をなし

『恐入りましてござる。なか〳〵手前共の及ぶところではございませぬ。御老人はどなたでいらつしやるか、お名前を伺ひたい。手前は柳生十兵衛三嚴でござる……』

と聞いて坊主は、ヂッと十兵衛の顏を見詰めてゐましたが、

『これはどうも恐入つた。柳生の御子息十兵衛殿であつたか、私は淺山一傳ぢや』

『えゝッ、さては三五郎老人でござつたか』

道理で强い譯だと、十兵衛が驚いたも無理はない、この老人こそ伊豆の人で淺山三五郎後に入道して一傳齋となつた、拔刀一傳流の祖と仰がれ、武術の神とさへ云はれた名人でございます。殊に十兵衛の父但馬守などは、この一傳齋から秘傳を敎へられてをりますから、その名は十兵衛もよく知つてゐました。

京城日報
朝刊・夕刊共十二頁

武漢再建の使命を擔ひ　治安維持會茲に誕生
雄々しく第一歩を踏出す

【漢口廿五日同盟】再生大武漢建設をはかるべき五十萬市民の要望に應へて設立された武漢治安維持會發會式は二十五日午前十一時より特別第三區舊漢口商業銀行において盛大に舉行された、五色旗及び日章旗に飾られた壇上に漢口治安維持會を初め武昌、漢陽兩治安維持會々長就任に内定の揚、張兩氏以下支那側代表數百名集合、日本側より陸軍關係者、花輪總領事等出席先づ五色旗の掲揚式を行つた後、本會成立の經過報告に次いで啓國植會長、揚大鑑副會長の就職式を行つた、啓氏の力強い挨拶並に別項の如き宣言朗讀あり更に森岡特務部長の祝辭、啓會長の答辭あつた後來賓として畑中支軍最高指揮官（代理）左近司海軍特務部長、花輪總領事の祝辭あつて盛會裡に式を終りこゝに武漢再建の重大使命を擔ふ武漢治安維持會は正式成立雄々しくその一歩を踏み出すに至つた

維持會宣言要旨

【漢口二十五日同盟】武漢治安維持會の宣言要旨左の如し

蔣政權が聯ソ容共政策によつて輕々しく兵火を開き國民は一日として寧日なく官吏は只上司の鼻息を窺ひ民の苦しみを察せず民の膏血をしぼるに汲々として住民塗炭の苦しみ軍事砲火のあと殆ど廢墟と化しその荒涼たる様を見るに忍びず就中湖南湖北に流散せるものは溜るに衣なく喰ふに物なく病みて醫者なく死して埋り得ざるなさがこれ何人のなせるところぞ我等この時艱に直面坐視する能はず

こゝに同憂の人士集り武漢治安維持會を組織し直に社會秩序を回復しもつて同文同種の國と共存共榮の政策を實行し日支親善をはかり東亞和平を確立せんとする、ここに我々は民衆をして各その所に安んじその業に就かしめその生活を保障し一面外國權益に至つては十分これを保護せんとするものなることを宣言す

東亞平和の礎石
啓會長談

【漢口二十五日同盟】武漢治安維持會々長啓國植氏は發會式後記者團と會見同盟通信社のトーキーを通して大要左の如き抱負を述べた

今回武漢三鎭有志の方々の御推擧により武漢治安維持會の會長に就任しました、もとより中日兩國は同文同種の國であります、蔣政權が聯共政策を持つて以來中日戰爭勃發し我々は多大の苦を嘗めさせられました、幸ひ日本軍はこれを打倒してくれました、平和の兆候を見出すとが出來ました、本會が軍當局御後援により成立することが出來ましたことは誠に私の感謝する所であります、私は本會を以て蔣政權打倒東亞永久の平和に進む礎石といたしたいと考へます

早くも活動を開始
税捐徵收臨時辦法制定

［本文判読困難］

龍州の主要軍事施設を爆破

［本文判読困難］

……龍州附近の……の成果を收……に於ては市内……施設を爆撃そ……前回の攻擊……施設は殆ど潰……

殘敵を掃蕩

北支各地に……状況左の如し

……弾一千五百、鹵獲五十で、乘用自動車三、手榴彈一千五百

◆岡村部隊は同じく德縣西南方東昌附近の牛角店で約一千の匪團を攻擊し、二十三日拂曉これを完全に包圍して文字通り殲滅、敵遺棄死體は梭條參謀長以下八百に上る

◆小林部隊は二十二日清山西南方三女河において呂生香の率ゆる四百三十の匪團の武裝解除を行つて、敵の所有せる武器小銃百四十一、自動小銃七、彈藥三千

◆焦作（新鄕西方五十キロ）警備隊は、二十二日同地東南方において約一千二百の敵を潰走せしめ、敵遺棄死體二百に上つた

南支方面戰況

【石龍二十五日同盟】東江南方地區の殘敵大掃蕩に當る我軍は行動開始以來士氣益々旺盛にして敵を南方に壓迫しつゝあるが二十四日夕刻までに各部の進出状況は左の如し

全國の招魂社
護國神社と改稱

【東京電話】護國の英靈を祭るべき招魂社については今次事變を契機に各地方から種々の要望あり殊に招魂社の名前は餘りに臨時的でふさはしからずとの意見が多いので内務省神社局では二十五日午前九時半から内相官邸に神社制度調査特別委員會を開き協議の結果、全國の總數百三十に及ぶ招魂社に今後總て護國神社と改稱し英靈に國民崇敬の念を高める事に決定した

豊田副武中將參内
軍狀を奏上申上ぐ

【東京電話】……御召しにより……御前に伺候……軍状を奏上したが……陛下には……御嘉納あらせられ……賜はつた……豊田中將に對し御陪食を仰付けられ、兩提督は光榮に感激して御前を退下した、なほ畏き邊りでは豊田中將に對し御勞の思召により御紋章附銀花瓶一箇を下賜せられた

豊田中將語る

【東京電話】二十五日帰朝の入京……において米内海相と會見挨拶を述べ次いで大宮御所にしめ各宮家に伺候御禮言上をなした、同中將は海相官邸において記者團に左の如く語つた

只今天皇陛下に拜謁仰付けられ軍状を奏上致して参りました、青島攻略後威海衛芝罘港等を占據し作戰の中心が中南支に移つてからも北支航行の封鎖や青島芝罘附近の殘敵掃蕩戰に人知れぬ苦勞があつた、特に航行遮斷で一番困つたことは一切合財を封鎖して了ふと農民が非常に苦しむことになるので一を弛め二を引締めるといつた具合に手加減を加へてゐる、今後は占領地域内の宣撫工作が非常に重大な役割をもつて來ると思ふ要は防共といふ大きな旗印しの下に結合することだ、而して青年層に指導されて抗日意識は激烈だからそれらもよく考へないといけないと思ふ

日本の將來の問題は作戰能力ではなく物心兩面の意味における國防力にある、支那の急所は支那自體にはなく背後の勢力にある、その勢力に詛屈する國力が結局事變を收拾させる力と信ずる、我が國に來朝する外國人はよく日本の國力を見直したといふがそれが本當かどうかは彼等の其後の行動で判斷しなければならん、揚子江航行問題も一年間敵が閉鎖してゐた所の作戰の必要上我が軍が啓開占據してゐるのだから第三國がその事態を知らずして商業上當然の權利の如く要求して來るのは見當違ひも甚だしいが我が方としては作戰の許す範圍において好意的に便宜をはかる用意がある

英佛協同空軍創設
兩國の意見大體一致

パリ特電【二十四日發】デーリー・エキスプレス紙の報道によれば、英佛會談の結果イギリス空軍幹部を最高指揮官とする英佛協同空軍創設に兩國間の意見が大體一致するに至つたと傳へられる

フランス側より
提携陣强化要望か
英佛會談極東問題をも討議

【パリ二十四日同盟】ヨーロッパ政局の注目の的となつてゐる英佛會談の内容に關しては共同コムミユニケ以外何等發表されてゐないので眞相は判明せぬが各方面の觀測を綜合するにその内容の大要は左の如きものと見られる

一、フランスは軍事的協力並に外交上の提携によつて、獨、伊樞軸に對して對抗する英佛提携陣を强化すべきことを要望した、これに對してイギリスは軍事協力は從來の行掛り上から受諾するがただイデオロギー對立の尖鋭化を來すがごとき對策には反對した

一、獨、佛共同宣言も勿論强化されるがこれは英獨宣言に倣ひミユンヘン協定成立後のイギリスの外交方針を示したものでフランスの輿論は必ずしもこれに贊成してゐない

一、イギリスは交戰團體權承認によりスペイン問題の解決並に佛印關係對策等の諸方策を考慮してゐるがフランスはこれに反對の意向を示した

一、會談の席上極東問題についても討議したといはれるがその内容は英佛共同方針の申合せ程度に止まる模樣である

兩國政策方針
完全に一致確認
共同コンミユニケ發表

【パリ二十四日同盟】二十四日の英佛會談終了後英佛兩當局は共同コンミユニケをもつてその内容を發表した

イギリス首相、外相並にフランス首相、外相は國防及び外交に關する諸問題就中兩國共通の利害關係ある重要問題につき意見を交換したその結果英佛兩國間に平和維持及び强化に關する共通な關心によつて促進さるべき兩國政策の一般的方針に關し完全に一致したことが今回確認された

獨外相
廿八日訪佛

【パリ二十四日同盟】リツベントロツプ外相はかねて獨佛兩國間に交渉中の共同宣言案に調印のため愈よ來る二十八日パリを訪問することになつた、因に獨佛共同宣言はさきの英獨宣言の例に倣ひ獨佛兩國の親善關係を確認すると共に兩國々境の不可侵を宣言するものである

陸相首相と要談

【東京電話】板垣陸相は二十五日五相會議散會後近衛首相と會見、要談を遂げた

佛共產黨の解散令
首相議會に提出か
罷業全國に擴大模樣

パリ特電【廿四日發】レイノー佛藏相の財政經濟政策に關する緊急令に對して左翼反對派は次第に硬化し、共產黨の指導によるストライキは全國的に擴大し不穩狀態を現出するものと危惧されるに至つたのでダラディエ首相は共產黨に對して國家の秩序を危くするとの見地から、その解散令を議會に提議することに決したと傳へられる、之に對し共產黨側はフランスをヒトラー化する第一步の共產黨解散の脅威に對しては、全力を擧げて鬪爭する決意であると語つてゐる

佛の勞働者罷業
俄然險惡化の形勢

パリ特電【廿五日發】金屬勞働者、鐵山勞働者のストライキは擴大し廿五日ルノー工場では勞働者が工場を占領し警兵隊と對立してゐる、ダラヂエ首相は武力により勞働者を工場から追ひ出し始めたが對立はます〳〵激化しルノーのストライキに連繫し擴大せんとしてゐる

定例局長會議

北支日の關下は本府定例局長會議は午前十時二十分から本府第三會議室で開催、駿頭大竹内務局長から安東において開催の鴨綠江河口港問題に關する鮮滿打合會の内容につき報告ののち

新義州の蘆草パルプ工場の新製品が去る廿三日初めて出たが却々立派なものである、目下のところでは製紙用パルプの製造のみであるが機械の到着次第人絹パルプの製造を開始するとのことであつた

と視察狀況を報告し、穗積殖產局長は白洋丸視察狀況について平壤における鐘紡のス・フ日產十五トンを目標とする人絹工場の工事進……

閣議附議豫算
主計局案より膨脹必至

【東京電話】明年度豫算編成に關する大藏省主計局と各省との折衝は主計局査定案に對する復活要求を中心として進められてゐるが、二十九日の定例閣議が政府の都合で二十八日に繰上げられる模樣であり豫算閣議は三十日臨時閣議を開き決定を見るものと思はれる、各省の復活要求に對する主計局の方針は豫算編成方針にも示されてゐる通り原則として新規事業に對しては經費を採用せざるものはこれを承認しない態度を以て臨んでゐるが各省要求の繼續施設、災害對策經費を繞つて相當巨額に上るものと見られるので豫算閣議に附議さるべき豫算は當初の主計局査定案に比し幾分膨脹を見ることは必至とされてゐる

杉山大將
首相、陸相訪問

【東京電話】軍事參議官杉山元大將は陸相辭任後湯河原にて靜養中であつたが二十四日歸京、二十五日午前八時四十分板垣陸相を陸相官邸に、又午後四時近衛首相を首相官邸に訪問、病氣恢復の挨拶をなし最近の現地の狀況その他につき重要懇談を遂げた

代償を豫期し
獨態度を緩和か

ロンドン特電【廿四日發】廿四日付イヴニング・スタンダード紙によればポーランドはルテニア國境に七個師團、またルーマニアのチエッコ援助を阻止するためルーマニア國境に四萬以上の兵力を集結した、ルーマニア側では直ちにこの旨英佛に訴へ、チエツコもまた英佛獨伊各國政府に對しミユンヘン協定に基づく國境の保障を再び要求したが、英佛はこれに應ずる模樣なく從來ポーランドのルテニア進駐に對し强硬に反對し續けて來たドイツは代償を豫期して俄に態度を緩和したかに傳へられる

朝鮮は處女地
開發は至急に
平岡秋田鑛專校長語る

明春半島に官立專門學校創立の相談役として本府から招かれた秋田鑛山專門學校長平岡通也氏は二十五日午後三時三十五分京列車で入城、高尾本府學務課長、鑛山關係者の出迎へをうけ朝鮮ホテルに投宿した、平岡校長は本邦唯一の鑛山專門學校長として十三年間鑛山技術員の養成に努め採鑛、冶金の權威として知られ教育界にも聞えた人、六十二の老齡とも思へぬ元氣さで熱情を傾けながら左の如く語つた

朝鮮の山には殆ど望みを持ちませんでした、銅などはあの小さな本國（日本のこと）から世界第二位にまでのしあがつたのですから全く偉い氣なことです、もうこれ以上較りとるのは可哀相ですよ、朝鮮は今出たところで處女地と申し上げたい、朝鮮の山に對して斷定的觀察を下すのはいけません、私の學校の卒業生には内地より朝鮮に望みを持ち朝鮮に行けと說いてゐます、朝鮮には朝鮮獨特の地質があり、鑛床も内地のそれとは大いに違ひます、これらを早く開發せねばなりません望みのない内地より望みのある朝鮮から出すべきです、その意味から今度新設される鑛山專門學校は重要で優秀な技術員を早く讓山送り出さねばなりません

朝鮮に出　來る學校は朝鮮だけのためであつてはなりません、國家といふ大なる見地から大陸の鑛山經營者、技術員を生れ出すものであつて欲しいのです、建學の根本義をそこに置き更に子弟を單に教育するといふだけではなく研究させる方にも力を注ぎたいものです、新設される學校は他の研究機關も包含してもよいのではないかと思ひます、校長、教授の人的方面も御相談があれば及ばずながら力を盡させていたゞきます、しかし人的方面はむづかしい點がありますが……いづれ本府の御方針をよくお聞きした上で御相談に應じ、大陸の鑛山專門學校といふやうな極めてスケールの大なるものを皆さんがおつくり下されば國家としても誠に有難いことです、二、三日京城にをり本府の御案内で北鮮を視察する豫定です

臨原學務局長とは東京で

臨原學務局長とは東京でお會ひし是非一度視察に來いとのお話でやつて來ました、内地……

對日申入れを
英官邊確認
米佛兩大使も申入れか

【ロンドン廿四日同盟】クレーギー駐日大使は廿四日有田外相を訪問し第三國の在支權益問題に關し意見を交換したがイギリス官邊では、二十四日クレーギー大使が有田外相を訪問しイギリス政府が揚子江問題に關する日本政府の回答を受諾し得ざる旨の通告を行つた事實を確認しており又消息筋ではグルーアメリカ大使、アンリフランス大使も有田外相に對し同樣の申入れを行つたものと信ぜられてゐる

京大總長
羽田亨博士決定

【東京電話】京都帝大總長後任推薦のため急遽上京した京大總長事務取扱平野正雄博士は二十五日午前八時中村書記官を帶同し淺谷區代々木幡ヶ谷の私邸に荒木文相を訪問、後任總長として前文學部長文學博士羽田亨教授を正式に推薦した、よつて荒木文相は同日の閣議決定を俟つて上奏御裁可を仰ぎ午後四時左の如く發令

任京都帝國大學總長（一等）　京都帝國大學教授　羽田亨
免京都帝國大學總長事務取扱　京都帝國大學總長事務取扱　平野正雄

定例五相會議

【東京電話】二十五日の定例五相會議は午後四時より首相官邸に開會、近衛首相、池田藏相、有田外相、板垣陸相、米内海相出席、當面の諸問題につき協議し六時二十五分散會

大野本府北京出張所長赴任

新任本府北京出張所長大野謙一氏は廿五日午後四時二十五分發北京行特急で赴任の途についた

人

◇大竹内務局長、穗積殖產局長、工藤鐵道局長　鴨綠江河口港問題に關する打合せのため安東へ出張中のところ廿五日朝歸任
◇松原純一氏（鮮銀總裁）豫定を變更廿七日「あかつき」で歸任
◇公森太郎氏（同副總裁）廿九日「あかつき」にて東上の豫定
◇野口日窒社長　入城中二十四日夜發內地へ
◇齋藤清治氏（金組聯合會理事、金融部長）就任挨拶のため二十五日來社▲岡田豐次郎氏（同上全羅南道支部長）同上▲鴻池義六氏（同上參事、預金課長）同上
◇金谷要作氏（漢江水力電氣常務）同上

東西南北

古川本府圖書課長の防寒用オーバーに附いてゐる毛皮の襟は相當の古物で、本人は自慢たつぷりに前込んでゐるが▲口の惡い井坂文書課長や伊藤審議課長は「古川君の毛皮は先祖代々傳はつた素晴しいもので、どう見ても犬の毛皮とは思へぬ程の暖かさうな代物だよ」と變な褒方をしたので古川課長「持たない連中はそねめ〳〵」と嘯くらそぶいてゐたが▲毛皮異聞を聞いた三橋警務局長「古川君、腐るとにたいよ、今は非常時だよ、犬の毛皮でもなか〳〵大事なものだから大切に獻納へよ」に古川課長「局長まで犬の毛皮にしてしまつた、よう云はんは」とテレてゐる【寫眞は古川圖書課長】

日本評論 12
アジアを創る文化雑誌一 一圓
日本の再組織を語る
有馬頼寧 室伏高信 一問一答(對談)
社説 いかに解決するか 其一 新東亞の原理 其二 東亞の新秩序 首相の放送
新東亞の建設。
東亞協同體の結成 佐藤賢了
新東亞建設の基礎條件 宇治田直義
長期建設への道 河野密
支那事變の本質と方向 杉森孝次郎
支那をどうする 太田宇之助
中國共產黨の新動向と對策 横田實
東亞新體制の確立と第三國 松本忠雄
一頁評論 宗教 レコード 芝居 音樂 新劇 美術
失業と轉業 大河内一男
支那財政はかくなる 木村増太郎
日本民族科學の體系化 藤澤親雄
協和戰爭の確信とその根據 田村徳治
統制經濟法と法原理 後藤清
現代における民族・國家思想 ケルロイター
特別寄稿
知性の改造 三木清
近衛と政黨運動の挫折
南支新地誌論 日本經濟地理研究所
昭和塾
中支の通貨問題 林周盛
日英支の問題 金生喜造
康熙の對支政策
戰の跡を語る 座談會
戰影日記 尾崎士郎
諧謔コント集 林二九太
對米宣傳の効果 ミブルノ・ラスカ
詩 敵前湖江 佐藤惣之助
年禮隨筆 武者小路實篤
★銃後東北農村現地報告 熊谷正男
島の西郷(戯曲) 加藤一夫
小說 高原 川端康成
丸の内草話 岡本かの子
在學理由 豐島與志雄
長篇 風雪 阿部知二
東京 日本評論社
最新刊
日本經濟學への道
東京帝大教授 經濟學博士 土方成美著
四六判上製 四〇〇頁 定價二・〇〇 送料・一四
東京 日本評論社
國內再建の諸問題
知識階級再建設 本多顯彰
長期建設に對應せる租税 高木壽一
軍需工業と不當利得 北川一夫
統制經濟と正義 加田哲二
長期建設と國內經濟 小汀利得
國民再組織運動の素描 安達巖
匿名評論
政界 政變前奏曲
論壇 論壇の一九三八年
文壇 文壇棚ざらへ
新聞 漢口陷落と新聞
財界 第十一條發動と財界
大阪商船出帆
内地優秀連絡船
北鮮門司阪神行
大連行
釜山出帆
九州郵船出帆廣告
九州郵船株式會社出張所
大阪商船株式會社 京城支店
國際運輸會社
北鮮商船組
釜山商船組
ジャパンツーリストビューロー
嶋谷汽船出帆
嶋谷汽船株式會社
中央公論 十二月號
日本經濟の再編成 笠信太郎
全體主義の世界觀 秋澤修二
大陸經營の基調 長島隆二
(現地評論)
英國の對日經濟作戰 工藤幸劍
上海を中心に見た支那 岡本鶴松
支那農業の基本分析 尾崎庄太郎
香港より支那を探る 根津知好
國民政府の命脈打診 横田實
支那を繞る極東國際關係 堀江邑一
全國民に告ぐる書 蔣介石
近衛公と新黨 馬場恒吾
新黨運動を裸にする 野村重太郎
對支院を繞る人々 稲原勝治
柳川平助論 岩淵辰雄
對支政策私言 松永安左衛門
漢口戰從軍記 中支戰線 富澤有爲男
揚子江 尾崎士郎
良心ある英雄ローレンス大佐の悲劇 原奎一郎
旅役者時代 藤原釜足
ブリュッヘルの失脚と極東赤軍 丸山政男
獨逸東進政策とソ聯の守勢 益田豊彦
本因坊自傳
本年度文壇總決算 窪川鶴次郎
街の人物評論
第十一條問題の展望 岩井良太郎
國民主義運動總觀 木下半治
昭和塾・昭和研究會探訪 X・Y・Z
事變を挾る在支外人記者座談會
本誌主催 從軍作家報告講演會
於神宮外苑 日本青年館 十一月廿一日(月) 午後六時より
遺稿 陣中日記 山中貞雄
戰傷記 バリトン伍長 伊藤武雄
語呂の論理 中谷宇吉郎
香艶の書 森田たま
北京天橋風俗 (文)村上知行 (繪)小穴隆一
人生畫譜 飯田蛇笏
源氏物語と大和魂 久松潜一
特價 壹圓廿錢
★戰時下の産業組合運動 千石興太郎
支那革命 政客交遊錄 小川平吉
抗日支那軍の一兵士が皇軍に歸順する心理を描いて餘すなし!
陣中小說 歸順 上田廣
國民生活再組織へ!
爲政者に望む 戸澤鐵彦
全知識層に訴ふ 佐藤賢了
農業改革への示唆 東畑精一
新勞働國策の出發 菊川忠雄
革新は如何に行くか 平井羊三
從軍小說 還らぬ中隊 丹羽文雄
敵は優勢なれど我任務は重し。壯絶、玉砕を期す決死の中隊!

遺族こ傷痍軍人は どんな扶助を受けるか

今夏改正の軍事扶助法の注意

京城府時局總動員課長 稻垣辰男氏談

☆—支那事變が勃發しまして軍事扶助を必要とする人の數が増加して參りましたので去年三月軍事扶助法の改正が行はれ七月一日から之を實施せらるゝ事となりました、併し本法は最近改正せられたばかりで未だその内容や手續の十分に判らない方もありますし、また中には

☆—扶助を受け得る資格があるにも拘らず全然これに漏れる方があつたり、或は手續が遲れたりするやうなことがあるのは甚だ遺憾なことゝ存じます、そこで軍事扶助法の實際に就て京城府時局總動員課長稻垣辰男氏にくはしくお伺ひしました

軍事扶助法は國民がその最大義務の一である兵役の大任に服する場合に、後に殘つた家族のことや、戰死した場合の遺族の生活等について少しでも心配があつては盡忠報國の誠をつくすことが出來ないので、そんなことのないやうに、家庭や遺族或は傷病軍人となつた場合の扶助等について規定したものであります

× ×

ちかもがふのでありまう、ではこの軍事扶助はどんな人がどんな場合に受けられるかと申しますと傷病兵、傷病兵の家族、傷病兵の遺族、下士官兵の家族、下士官兵の遺族（下士官兵とは陸軍では曹長以下、海軍では一等兵曹以下をいふ）

× ×

（こ）れらの人がどんな場合に扶助を受け得るかといへば、それは何れも生活が困難である場合に限られて居るのであります、これには一定の標準があるのではなく、生活の實情を調査してその結果に依つて認定されることになつてゐます

扶助の種類

（扶）助の種類には普通生活扶助、醫療、助産、生業扶助の四種類の他、死亡、災害等に對する臨時の扶助があります

（從）つて同じやうに、生活に困つてゐる者の面倒を見るといふ法律でありましても、救護法やその他の社會事業とは根本的にその法律の成り立ちが違ふのであります

（一）生活扶助 生活費が不足する場合に、その不足分について扶助するので金品又は物品の給與に依つて行はれるもので京城府では一人一日六十錢であります、但し一世帶に於て扶助を受ける者二人以上ある時は大體その人員が増すに從つて一人當りの支給額は逆に段々少くなります、例へば一家族で二人の場合の合計は一圓になるわけです

（二）醫療 扶助を受ける資格のある者が傷をうけたり、病にかゝつたりした時には診察料・藥料、入院料、手術料その他病氣治療上必要なる費用を支給せらるるのですが、その金額は大體實費程度のものであります

（三）助産 助産のため支給される扶助金は一回十二圓以内で、また入院の便宜も得られます

（四）生業扶助 これは扶助を受ける資格のある本人または家族、遺族の中に於ける人があつて何らか適當な職業を營み多少でも收入を圖らうとする者に對して、金錢物品等を給與または貸與するもので二つの場合があります

× ×

（1）生業に必要なる資金、器具資料を給與又は貸與する場合、京城府では一世帶に付百五十圓以内

（2）生業に必要なる技能を授ける場合は一人一日に付二十五錢以内

以上四種の扶助は二種以上を併せ受ける事が出來得る事になつてゐます

扶助の手續

（次）に若し扶助を受けて居る人が死亡した場合に於ては埋葬費として一人に付拾圓以內を支給せられます。この場合に埋葬を行ふ者がゐないときには地方長官が埋葬を行ふことになつて居ります

又特殊の災害、例へば火災、水害に罹つた場合には一世帶三拾圓以內の生活扶助が與へられます

以上の扶助はすべて扶助を受けるもの、居宅に於て行はれるのが本當でありますが、特殊の事情のために居宅扶助をすることが出來ないとか、又は居宅扶助をすることが適當でないやうな場合には、扶助を受ける者を適當なる施設即ち病院、養老院、保育院等に收容し又は收容を委託して扶助せられる便利もあります、この場合に於ては別に扶助金の程度は場合に依つて別に詮議決定せられることになつております

× ×

（扶）助を受けるには、どんな手續をしなければならぬかを申しますと規定の願書を認めて住所地の府尹、郡守又は島司を經て道知事に願出ることになつて居り、又その願書に記載した事項は異動があつた場合には同樣屆出ることになつて居ります。假令本人から願出が無くても、扶助の必要があると認めた場合には、當局で扶助の手續をとるやうに努めてはゐますが、元來本人から願出ることが本當でありますし、この扶助は他の救護などと違つてこれを受けることは決して不

扶助と聯盟

（最）後につけ加へて申し上げたいことは軍事後援聯盟のことです、時局の重大性に鑑みて朝鮮に於きましても早くから軍事後援聯盟が結成せられ、熱烈なる活動を續けてゐますが、これは軍事扶助法が普及徹底すれば傷病兵及軍人の家族、遺族の生活その他について何も心配の必要がない……

名譽にも恥にもならないのでありますから、何も遠慮することなく自ら進んで願出られたいのでございます

今は結婚季節 改善したいことなど (9)

清い神前結婚 新婚旅行は獎めたい

京城醫專病院外科々長白麟濟氏夫人 崔昊珍さん談

ふりかへつて見ますと、私が結婚致しましたのも一昔前のことでございます……

その當時 としましては一歩進んで最も合理的に簡易化した結婚式を擧げたつもりでございますが、今になつて考へますと、やはり勿體ない無駄なことを致したやうでございます

私がこの際考へますのは何方もおつしやるやうに先づ式場のことです、お宅で行ふのも、ホテルや府民館などで擧げるのもいづれも一長一短はございませうが、私共は時局を認識しますれば、どうしても神様の前で厳かに一生を固く契らせて戴いた方が真に清く、麗はしい結婚式が出來るのではないかと思はれます、その意味で私は斷然神前結婚をおすゝめしたいのでございます

衣裳調度 品のことにつきましては時節柄誰方も愼重に吟味してゐられる

そこで結 婚……

近視を豫防する 讀書の仕方

勉强室の採光に注意

學生達にとつては學期試驗その他無理な勉强で兎角過勞に陷り易く、また讀書衞生條件に充分注意しなかつた爲にすつかり眼を惡くしたといふ例はよくあることです。そこで眼の疲れない勉强の仕方を申し上げませう

勉强 する部屋は勿論暗過ぎては困りますが、それかといつてあまり明る過ぎてギラギラするのも眼を疲れさせるのですから光線の調節は北向きの窓のあることが都合がよろしい……

主婦の手帖

經濟的な大根鍋

脂肪分の補ひに 胡桃南京豆を召上れ

りんご ……胡桃、榧の實、銀杏、落花生、ココナツ、松の實……

一分間講座

汚れた揮發油は かうして淸める

一度洗濯に使つた揮發油はすつかり汚れてゐて、明りにすかして見ると細かいゴミが浮游してゐて、そのまゝ又用ひると却つて布を汚すやうなことになります、さうかと云つて捨てるのは勿體ない、かうして再生なさいませ、それは洗濯ソーダか苛性ソーダを濃くとかしに溶かして揮發油の中へ入れてよく攪混せ、そのまゝ放置しておくと上澄が出來るから、それを他の瓶へ移して用ひるのです

食卓メモ バターの話

パン食が相當に行はれてゐるやうですがバターについて述べて見ませう

バター は近年舶來品は影をひそめましたが、つまらぬ舶來品などはどうでもよろしい、わが北海道のバターは既に世界に冠たるものですから……

かうし た純良バターは滋養分、殊にヴィタミンAが豐富で……

家庭メモ 榮養たつぷり 味噌頭の作り方

材料—味噌十匁、玉子二箇、砂糖二十匁、メリケン粉六匁、水一合七勺、つぶし餡、胡麻油

味噌はよく擂つて水を加へて調にします。鷄卵を泡立て器で十分にかきまぜ、その中へメリケン粉と砂糖をふるひこんでまぜてそこへ味噌を入れ、よくまぜ合せ、フライ鍋に油をひいて熱した上に落し、丸く平たく一分厚みに兩面を燒きます、この二枚の眞中に餡玉を置き、兩手で輕く押して合せます

催し物だより

◇三越

◆九谷燒名匠作品陳列即賣會（三十六日から二十九日まで四階ホール）

◆仕立上り丹前賣出し（一日から二階賣場）

◆子供用國民服賣出し（一日から三階賣場）

◆防寒器具賣出し（一日から四階賣場）

◆三越の御歳暮品陳列（一日から三十日まで、全店）

乾果が

カロリーに於て比較にならぬほど優れてをり、他の榮養分の配列を見ても決して劣つてはゐない……

麗人莊〔129〕

竹田敏彦作　伊勢良夫畫

【禁無斷上演映畫化】

宣戰布告（三）

「こちらへお入り……」

舍監は、二人を招き入れて

「こちらはね、瀬野菜子さんのお母樣です……この二人と、一緒にお出かけになつたのでございますよ……」

章子に紹介した。

聞いてゐましたわ。ねえ……」

もう一人の娘を睨みた。

「菜子の知つてゐる人で？」

章子は、はつとして眼を瞠つた。が、その時

「えゝ露香さんとかいふ方ですわ……」

「……」

あら！——章子は、菜子の失踪の原因を、やつとはつきり想像することができた。彼女はもうそれ以上、菜子等の話を聞くに堪へなかつた。

あの子は、自分の秘密を知つたのだ——。だが、父が大原總三郎であることまで、若松のおかみさんは喋つたらうか、露香といふ名

章子は、はつとして打消した。

も赤坂では、一人や二人ではなかつたが——

そこへ、舍監が聞つてきた。

「いかゞでございまして……」

「一向どうも、見當が……」

章子に、その場を繕つたが、舍監は

「實は、警察へでもお願して、搜査していたゞく方法もあるのですが、何しろ若い娘さんのことですから、あまり大袈裟になりましても何うかと存じまして……もう暫くこのまゝで搜査を續けてみませうか」

「はア……」

「失禮ですが、何か御家庭の非で御不滿があつたといふやうな原因はございませんでせうね」

「いゝえ、別に……」

章子は、はつとして打消した。

鎮吾——これは自分の一生に、拭きれない汚瑕をのこした悲しい昔の我が名ではないか！ どうしてこれを、あの子が知つてゐたで

「ほんとに御迷惑をおかけしますわ、ねえ」

章子は、二人の娘に挨拶して

「お宅を出たのは、何時頃でございました？」

菜子に訊ねた。

「夕方の五時頃でございましたわ」

「その時に、あの子の口から、何か變つたお話は出ませんでしたかしら？」

「いゝえ、別に……」

章子は、ちらりと、相手の娘を見た。

そこへ、小使が入つてきて

「舍監さま、お電話でございます……」

「まア、おや、ごゆつくり……」

舍監は、章子に挨拶して、席を出ていつた。娘達の様子は、瞬間につと意いたやうに見えた。章子はそれを見て

「お宅は、どの邊でございますの？」

何氣なく菜子に訊ねてみた。

「赤坂ですわ……」

「赤坂？……」

「田町三丁目、若松つて家ですわ」

「えッ……」

章子は、思はず聲を詰めた。あの若松のおかみさんの孫だらうか——二十年前の抱主の顔が、ぱつと眼の前に浮かび上がつた。

「そして、どんなお話していらしつたの」

章子はわれ知らず膝を進めた。

「お祖母さんと、昔話をしたり、歌留多を取つたり、それきりよ」

「昔話？」

「えゝ、さう……菜子さんのお友達のお姉さんが、昔、家にいらしつたさうで、その方のお話なんか

ラヂオ

廿六日（土）

第一放送

朝の部

午前六・五〇　ニユース

七・〇〇（東）時報

七・〇一（東）基礎英語講座　堀英四郎

七・三〇（京）朝の修養　大和魂（五）　文學博士　吉澤義則

七・五〇（城）皇居遙拜、今日の天氣見込（咸興を除く）

七・五一（東）ラヂオ體操

九・二〇（城）氣象通報

一〇・〇〇（城）衞生メモ、日用品値段

晝の部

一〇・二〇（東）家庭講座　恐るべし　醫學博士　坂本恒雄

正午（東）時報

午後〇・〇五（大）七曜コンサート（第四十八回）吹奏樂（一）行進曲「白衣の天使」長谷川一男作曲（二）「松火舞踏」マイアベール作曲（三）接續曲「クラツデラダチシユ」ラタン編曲　大阪市音樂隊　指揮　林　亘

〇・三〇　ニユース、鮮魚御賣値段、清果蔬菜御賣値段（咸興）

一・一五（城）家庭の時間（朝鮮語・釜山・咸興・裡里）標準食糧について　金　浩　植

二・四〇（東）ラヂオ體操

三・〇〇（城）母の時間　寒い時の赤ちやんの手當　京城第一高等女學校教諭　翁長キミヨ

四・〇〇　ニユース（氣象通報・釜山、清津）職業紹介

夜の部

六・〇〇（東）幼兒童話〃ボンボン時計〃　東京童話クラブ

六・二〇（東）コドモの新聞　關屋五十二

六・二五（松）郷土一夕話「島根」

六・五五（東）カレントトピツクス

「出雲風土記物語」太田柿葉

七・〇〇　ニユース・天氣見込

七・三〇（東）國民歌謠　白百合　指導　國　穂子　合唱　高島屋女子合唱團　伴奏　東京放送管絃樂團

七・四〇（上海より）絃樂四重奏（一）シユーベルト作品四重奏曲　二短調（死と少女）の第二樂章　アンダンテコンモート（二）ドヴオルザーク作品　オ六番へ長調　黒人四重奏の第二樂章レント　第一ヴアイオリン　フオワー　第二ヴアイオリン　ゼノキー　ヴイオラ　ゲルワオスキー　チエロ　アンドレーフ　上海工部局管絃樂團

八・〇〇（大）物語詩曲一、三羽の駒鳥　獨唱　四家文子　合唱　大阪放送合唱團　伴奏　大阪ラヂオオーケストラ　指揮　深井史郎

二、しぐれ　獨唱　松田トシ　合唱　大阪放送合唱團　箏　久本玄智　尺八　星田一山　伴奏　大阪ラヂオオーケストラ　指揮　深井史郎

八・四〇　長唄（京城）〃支那事變〃

唄　杵屋美乃志　同　杵通佐多美　同　杵屋禎枝　三味線　杵屋佐多枝　同　杵屋民枝　上調子　杵屋佐志津

八・四〇　三曲（箏）〃若葉〃　三絃　關野幸雄　箏　關野陽子　尺八　島原帆山

八・四〇　琵琶（平壤）旅順襲古　淵切正風

八・四〇　尺八と俗曲（裡里）（一）尺八本曲「秋月」二、俗曲（イ）都々逸（ロ）立山節（ハ）佐渡おけさ　唄　田村李山　三味線　小雲江　〃　舟

八・四〇　歌謠曲（朝鮮語・清津・咸興・京城第二入中）（イ）曉さの沙漠（獨）（ロ）ユカリの唄（李）（ハ）明沙十里（金）（ニ）流行き千里の道（獨）（ホ）雨のブルース（李）（ヘ）下田夜曲（金）（ト）豆滿江の船頭（獨）

九・〇五（東）浪花節〃宮津の夜嵐〃　末廣友若　伴奏　京城放送

九・四〇（東）時報・ニユース解説・氣象通報・翌日の番組・地方ニユース・就寝音樂

第二放送

午後〇・〇五（大）七曜コンサート

一・一五　家庭の時間

六・〇〇　齊諸と管絃樂　京城放送

（以下略）

本社特選 半島大棋戰

四段　赤岩嘉平

二子番　三段　萩原孝一（總督府技師）

【2】

○一三　れ十　●一四　か四　○一五　れ五　●一六　れ六　○一七　れ四　●一八　た六　○一九　ぬ三　●二〇　よ二　○二一　た二

黑又も安打を放つ　白十三を咎められて窮す

講評　七段　瀬越憲作

◇右下隅の掛けが一段落を告げたので、白は左邊に轉じて十三とワリウチした。

がこの形勢に處して白十三を適切とは云ひ難い。否、絶對的に他の手段に依らねばならぬ處である

その理由は後廻しにして、黒十四が白十三の不當を咎め、この場合の最も妥當手段である所以を解く。

白に良い對策なし

◇黒十四のカケに對して、白この隅を手拔きし——場合に依つては成立する手だが、本局では不可——黒から「よノ二」と打たれては堪まらぬから、白は十五とツケるか、或は反對に「かノ三」の方にツケるかの二つを出ない。そこで前者を採れば、譜の黒十八までとなり、黒の外側が厚くなる關係上、白十三を無駄化すから白が拙い。つまり白十五とツケるのは十三と矛盾してゐる譯である。さ

れぱと云つて後者に從ひ白「かノ三」にツケるのは、黒「わノ三」にオサへ參考圖（1）（2）の結果となり、シチヤウが不利だから白が惡い。

參考圖（1）黒二に次いで黒のキリチガヘは此の一手、黒單にヒキ白五とサガれば、黒

…

白に征が有利なら

◇尚白十三は次のやうな場合には……されば白十三を以ては十四にケイマするとか、或は「よノ五」にタケる等々、兎も角十三以外の手段でなければならなかつた。

觀戰記　白さんコンディション

……と名付ける。

……ションが惡い故か、ボールの選投といふ譯ですネ。

尚白二一で「よノ三」に出、黒「かノ三」と交換して二一と受けるのは絶對に惡い。黒に二一が良いのである。

【1】參考圖　【2】參考圖　【3】參考圖　【4】參考圖

當代一流 爭覇戰譜

【第二局】

平手　△五段　大和久彪

先　▲四段　鈴木禎一

（圖は前回△五四歩迄の局面）

▲五七銀 4　△四一玉 2　▲三六歩 11　△八六歩　▲同歩　△同飛　▲八七歩　△八四飛　▲六九玉　△八八角成 30　▲同銀　△二二銀

「持駒」大和久氏　なし

「持駒」鈴木氏　なし

（持時間各七時間）

累計　大和久氏　三十二分　鈴木氏　十五分

先手機先を制す？　烈々たる三六歩

觀戰記　六段　飯塚勘一郎

先手方鈴木氏は未だ持駒の交易に飛先き歩切りを斷行せず、々たる五七銀で、銀の四六から計つた、これには後手方同じく從して、或は五三銀と斜め歩かと見えたが、大和久氏は四一玉と寄つてゐる

……

さて此の後手方四一玉に、木氏の旗幟は、何處に動くる間に、俄然同氏の陣容は向の三六歩

これには流石の大和久氏も然たる態で、此のところ攻寂な大和久氏が、その冷静れた形。然し鈴木氏に云はこれが即ち、敵の機先を制庭の一着ではなかつたか、「先んずれば人を制す」と先手方は次ぎに四六銀と打で、更に三五歩、同歩、同は五五歩、同歩、同銀の如な捌きを狙つてゐるから、策には、後手方も逸早く飛切り、ドツしり飛を八四の

……

浪花節　嶽宮津の夜嵐　末廣友若

幼兒童話　ボンボン時計　東京童話クラブ

寒い時の赤ちやんの手當　翁長キミヨ